



モノレール南摂津駅より徒歩約15分 JR岸辺駅よりタクシーで約10分 阪急正雀駅より徒歩で約25分



協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3

TEL.06-6827-8833(代表)

FAX.06-6829-2256(地盤技術室)

<http://www.ks-dositu.or.jp>

ISO/IEC17025認定試験所(摂津試験所)
ISO9001認証取得

計量証明事業者登録(濃度)大阪府第10310号
環境省土壌汚染指定調査機関(環2003-1-99)



目 次

「えにし：因縁・絆・師」と「和：人との繋がり」 澤 孝平……………	1
7月・8月 定例理事会 ……………	3
大阪府中央会創立 60 周年記念特別表彰……………	4
第 51 回地盤工学研究発表会 参加報告……………	5
全地連「技術フォーラム 2016」熊本 参加報告 ……………	6
宇治川オープンラボラトリーと伏見城周辺 合同見学会 御案内……………	8
行事・講習会・資格試験等のご案内……………	10
こんな時代だから、ちょっと心に残る良い話……………	11
編集後記……………	12

表紙説明

大阪府南河内郡太子町にある^{えいふくじ}叡福寺は、聖徳太子の墓前に営まれた寺院で磯長山（しながさん）と号する。この寺は戦後単立寺院となったが、もとは古義真言宗金剛峰寺の末寺で、所在地であるかつての郡名や地名に因んで石川寺・磯長寺などと称されていた。また、聖徳太子の磯長 dada 墓を祭祀守護する性格の寺院であるところから太子寺・御廟寺・聖霊院の号もあり、四天王寺・法隆寺とならんで太子信仰の中核をなした寺院である。なお、一連の太子建立伝説をもつ八尾市大聖勝軍寺の「下の太子」、羽曳野市野中寺の「中の太子」に対し「上の太子」と称され親しまれている。

(加藤 記)

組合員・賛助会員名簿

【組合員名簿】

(50 音順)

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アスコ大東	(06)6282-0310	株式会社 白浜試錐	(0739)42-4728
株式会社 アテック吉村	(072)422-7032	株式会社 ソイルシステム	(06)6976-7788
株式会社 インテコ	(0742)30-5655	株式会社 ダイヤコンサルタント 関西支社	(06)6339-9141
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06)6397-3888	株式会社 タニガキ建工	(073)489-6200
株式会社 オキコ コーポレーション	(06)6881-1788	株式会社 地圏総合コンサルタント 大阪支店	(06)6223-0955
応用地質 株式会社 関西支社	(06)6885-6357	中央開発 株式会社 関西支社	(06)6386-3691
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06)7175-7700	中央復建コンサルタント 株式会社	(06)6160-1121
株式会社 関西土木技術センター	(075)641-3015	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06)6384-5321
株式会社 関西地質調査事務所	(072)279-6770	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072)265-2651
株式会社 基礎建設コンサルタント 大阪営業所	(088)642-5330	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06)6353-7900
基礎地盤コンサルタント 株式会社 関西支社	(06)6536-1591	株式会社 日さく 大阪支店	(06)6318-0360
株式会社 キンキ地質センター	(075)611-5281	株式会社 日建設シビル	(06)6229-6372
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06)6206-5700	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06)6351-0562
興亜開発 株式会社 関西支店	(072)250-3451	日本物理探査 株式会社 関西支店	(06)6777-3517
株式会社 神戸調査設計	(078)975-3385	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742)36-0211
株式会社 興陽ボーリング	(06)6932-1590	阪神測建 株式会社	(078)360-8481
国際航業 株式会社 関西技術所	(06)6487-1111	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06)6392-7200
株式会社 国土地建	(0748)63-0680	双葉建設 株式会社	(0748)86-2616
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)6121-5011	株式会社 メーサイ	(06)6190-3371
株式会社 シマダ技術コンサルタント 大阪本社	(06)6392-5171	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(072)751-1659
有限会社 ジオ・ロジック	(072)429-2623	株式会社 ヨコタテック	(06)6877-2666

【賛助会員名簿】

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アーステック東洋	(075)575-2233	株式会社 ソルブレイン	(06)6981-3330
株式会社 池田地質	(06)6797-2280	株式会社 中堀ソイルコーナー	(06)6384-9069
株式会社 創研技術	(088)652-0077	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799)28-1074
株式会社 総合技術コンサルタント	(075)312-0653		

発 行 協同組合 関西地盤環境研究センター 編 集 広報関連委員会
〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号 編集責任者 中山義久
TEL 06-6827-8833 (代) 印 刷 千里丘印刷
FAX 06-6829-2256
e-mail tech@ks-dositu.or.jp

<http://www.ks-dositu.or.jp>



「えにし：因縁・絆・師」 と「和：人との繋がり」

関西地盤環境研究センター 顧問
澤 孝平

今はあまり使われない言葉に「えにし」という語がある。漢字では「縁」と書き、岩波の広辞苑には「ゆかり・えん」、国語辞典では「えん・つながり・『えに』は縁の音、『し』は強めの助詞」と説明されている。70年以上も人生を過ごしてきた間に、多くの「えにし」を経験してきた。特に自分の生き方に影響を与えた人々との「えにし」に思いを巡らし、我が人生の転機を振り返ってみる。

今から振り返ると、昭和44年はこの「えにし」が最も濃い年であった。この年の春に、84歳の祖父の臨終の枕元に呼ばれて「我が家の将来はお前がしっかりと守らねばならないこと」を告げられ、「特に土地を大切に守ること」を強く意識づけられた。父がその5年前に急逝していたこともあり、26歳の小生に託す祖父の思いは切迫したものであったと思われる。その後長い間、一緒に家を守っていた母も今から9年前に亡くなり、祖父の言葉通り小生が澤家を担うことになった。先祖から受け継がれている田舎の家は、大阪から電車で2時間足らずの地であるが、年に数回の墓参りに出かける程度で疎遠になってしまった。

先祖からの「えにし」を将来どのように繋いでいけるか、繋いでいかねばならないかを考えると難しい課題であるが、おそらく約50年前に祖父が気にしていたことが、孫の小生に巡ってきている「因縁」であろう。

昭和44年の二つ目の「えにし」は、人生の伴侶との出会いである。それまで全くの他人である一人の女性との「結婚」は、血縁関係のある家族と同等あるいはそれより近い関わり方になることであり、「赤い糸で結ばれている」とか「前世から約束されている」とか言われる。現実には妻との仲に赤い糸を見たこともないし、まして前世がどのようなかには知る由もない。幸いなことに、人との付き合い方や人生に対する考え方や判断基準に大きな違いがなく、お互いを認め合うことができ、二人の娘と四人の孫に恵まれ、50年近くを無事に仲良く過ごすことができたのは、家族や友人を初め多くの方々のお陰であると思う。「偕老同穴：夫婦が仲よく共に長生きして、死後は同じ墓の穴に葬られるということで、夫婦の契りの固いことのたとえ」といわれるように、「夫婦の契り」はすなわち「絆」でもあり、いつまでも大切にしたいものである。

第三の「えにし」は昭和44年だけではなく、その前後20年ほどに渡っている。京都大学4年(昭和39年)の春に、松尾新一郎先生の土質工学研究室に配属された。それ以降、大学では学部学生・大学院学生・助手・講師と身分は変わっていき、昭和48年に明石高専に移ってからも、松尾先生からの直接のご薫陶は先生が昭和58年に亡くなるまで続いた。松尾先生の研究に対する研ぎ澄まされた洞察力と発想力は人並み外れた領域にあったし、自己主張力は何人をも従えるだけの力強いものであった。時には自我を前面に出して他人を叩き潰す恐ろしさも厭わない様に、多くの人が畏敬の念を抱いたことも稀ではなかった。先生とは第二の「えにし」に記した妻を紹介して頂いたご縁もあり、先生

が亡くなった後、最近でも年に1回くらいは夢に現れ、小生を鼓舞してくれている。若干有難迷惑なところもあるが、懐かしい気持ちとともにありがたいと思うことも多い。まさしく人生の「師」である。

われわれ日本人は古来「えにし:人との縁」を大切にしてきたと思う。それが「和:人との繋がり」として受け継がれており、小生は「以和為貴(和を以て貴しと為す)」という聖徳太子の教えを座右の銘とし、常に心に刻んで生活している。この「和」の精神を表しているものの一つに、平安時代に作られ、千年以上にも渡って読み継がれてきた「実語教」というものがある。この書物は仏教的色彩が強く、儒教の教えも取り入れたもので、弘法大師の作という説もあるが定かではないようである。また、この書物は初めて学問を志す子供たちに適切な教訓を説くものであり、日本人の倫理観すなわち精神文化の基礎となっているが、戦後の教育では「道徳」が軽んじられたため、残念ながら現在はあまり知られていない。その中で、人とのふれあい方について書き下している部分を以下に抜粋する。人生の道標にして頂ければ、幸いである。

*** 「実語教」の抜粋*** (<http://mondou.hateblo.jp/entry/2015/05/08/021102> より)

父母如天地	師君如日月	(父母は天と地であり、師は太陽と月である。)
親族譬如葦	夫婦猶如瓦	(親族は葦のようであり、夫婦は瓦のようだ。)
父母孝朝夕	師君仕昼夜	(父母には朝から晩まで孝行せよ。師には一日中仕えよ。)
交友勿諍事		(友とは仲良くし、喧嘩をするな。)
己兄尽礼敬	己弟致愛顧	(自分より年長の者には礼儀正しく敬い、自分より年下の者は可愛がれ。)
敬老如父母	愛幼如子弟	(老いた人を父母のように敬い、幼い子供を弟妹のように愛せよ。)
我敬他人者	他人亦敬我	(自分が他人を敬えば、他人は自分を敬う。)
己敬人親者	人亦敬己親	(自分が他人の親を敬えば、他人は自分の親を敬う。)
欲達己身者	先令達他人	(自分の身を良くしたければ、まず他人を良くしてあげなさい。)
見他人之愁	即自共可患	(他人が悲しんでいるのを見たならば、自分も一緒に悲しみなさい。)
聞他人之喜	即自共可悦	(他人が喜んでいる声を聞いたならば、自分も一緒に喜びなさい。)
見善者速行	見悪者忽避	(他人の善行を見たなら、自分もそれを速やかに行き、他人の悪行を見たなら、自分はそれを行なうな。)



平成 28 年 7 月 21 日（木）15 時 00 分より、関西文化サロン会議室において、理事 10 名が出席して開催した。

定款の定めにより、高村理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
6月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 6月分事業報告の件
- 3) 平成 28 年度第 1 四半期実績報告の件
- 4) 大阪府中央会大阪大会 会長表彰者推薦の件
- 5) その他の件

【審議事項】

- 1) 利益配分（案）の件
- 2) 組合規程類見直しの件
 - ① 就業規則
 - ② 賃金規程
 - ③ 退職金規程
 - ④ 常勤役員（専務理事）慰労金規程
- 3) その他の件

8月理事会は資料を送付の上、持ち回り開催とした。

記

開催年月日	平成 28 年 8 月 25 日（木）理事に資料を送付し 平成 28 年 8 月 31 日（水）までに意見を回収した。
開催要領	持ち回り開催
理事者数	10 名 全員に資料を送付

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
7月理事会の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 7月分事業報告の件

大阪府中央会創立 60 周年記念特別表彰

2016年9月15日、大阪府中小企業団体中央会主催による「第58回 中小企業団体大阪大会」がマイドームおおさかで開催されました。合わせて行われた創立60周年記念特別表彰にて、当組合からは次の方々が表彰されました。

- ・ 中小企業庁長官表彰 理事長 高村 勝年氏
長年の功績が認められ今回の最高賞を受賞されました。
- ・ 組合経営功労者 元副理事長 田中 政憲氏
副理事長 藤井 務氏
副理事長 寺西 一哲氏
- ・ 組合事務局優秀従事者 職員 鈴木 剛氏

長年の中央会理事活動及び、組合経営に御尽力された賜物であり、心よりお祝い申し上げます。

(鈴木 記)



大会の開会宣言



理事長 表彰状授与



理事長による受賞者代表謝辞



受賞者(写真左より) 田中理事、高村理事長、寺西福理事

第51回 地盤工学研究発表会 参加報告

地盤技術室
李 俊憲^{い じゅんほん}

先日、平成28年9月13日～15日にかけて開催された、第51回地盤工学研究発表会(岡山大学)に参加致しましたので報告をさせていただきます。14日の午前、地盤挙動-圧密・沈下②セッションで「CBR モールドを用いた砂礫盛土材料の室内水浸沈下試験」のタイトルで発表を致しました(左の写真)。発表内容は、神戸大学の既往研究から「コラプス現象時の体積ひずみは応力経路に依存しないが上載荷重、試料の密度および初期含水比に影響を受ける」結果を得られています。一方、現場盛土材料は大粒径のレキ分を含んでいるため、原粒度材料を用いた室内試験は容易ではありません。そこで、直径15cmのCBRモールドを用いた砂礫盛土材料の原粒度試料を用いた水浸沈下試験を実施した結果を報告致しました。フェロー方々には、CBRモールドで室内試験を行った理由と水浸沈下時に細粒分の影響によるメカニズムなどについて貴重なコメントを頂きました。また、最終日の「DS-13 地盤品質判定士の役割と期待」セッションでは地盤変形(水浸沈下)を認識する必要性があるという内容を聴講し良い勉強になったと思います。



李の研究発表(地盤挙動-圧密・沈下②セッション)



「ジオ・ラボネットワーク」の技術展示

最後に、ジオ・ラボの方々にご協力を頂きながら展示ブースの設置を行いました。(右の写真:左の上から右回り、関西地盤環境研究センターの中山氏、北海道士質試験協同組合の山内氏、岡山土質試験センターの原田氏、島根県土質技術研究センターの松浦氏、関西地盤環境研究センターの松川氏、関西地盤環境研究センターの李、中部土質試験協同組合の坪田氏、関西地盤環境研究センターの佐藤氏)。地盤工学発表会に参加できる機会を与えてくださった皆様に心よりお礼を申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。

—全地連「技術フォーラム 2016」熊本— 参加報告

地盤技術室

橋本 篤、服部 健太、三好 功季

橋本 篤 報告

平成 28 年 9 月 8 日～9 日にかけて開催された、「技術フォーラム 2016」熊本（KKR ホテル熊本）に参加しましたので報告させていただきます。

企業展示は、その他関連技術コーナーとして、ジオ・ラボネットワークのブース展示を行いました。技術発表は、橋本、服部、三好の三名が行いました。

私、橋本の技術発表は、今回 9 年ぶりの参加で、久々の発表でした。今回の発表は「室内実験による堤体盛土の水浸沈下現象」という内容で、室内試験結果を直接考察したシンプルな内容であったので、今までにないくらいの多くの質疑を受けまして、多くの方に興味を持っていただけたと感じました。

会場となった、KKR ホテル熊本は、今年 4 月に発生した熊本地震で被害を受けた熊本城に隣接した場所にあり、石垣の崩れ等の被害状態を直接見る事ができました。場所によっては復旧が始まっているところもありましたが、ニュース等でみたままの状態が圧倒的に多かったと感じました。



会場 KKR ホテル熊本



ジオ・ラボネットワークブース



橋本発表の様子



崩れた石垣

服部 健太 報告

8日は、昼頃に会場入りをし、会場の雰囲気を感じつつ聴講しましたが、予想より大きい会場でかなり緊張しました。また、熊本城が目の前にあったので、地震の被害を直接見ることができ、石垣の崩壊を見て改めて地震の怖さを感じました。

9日の午前中は、【B-4 室内試験】のセッションにて、盛土材料の供試体密度と三軸圧縮強さの関係について発表しました。発表内容については、センターの諸先輩方に指導して頂いていたおかげで上手にできたと思いますが、優秀技術発表者賞には及びませんでした。せっかくこのような機会を頂いたのに悔しかったです。もし、次回があれば何らかの成果を残せればと思います。

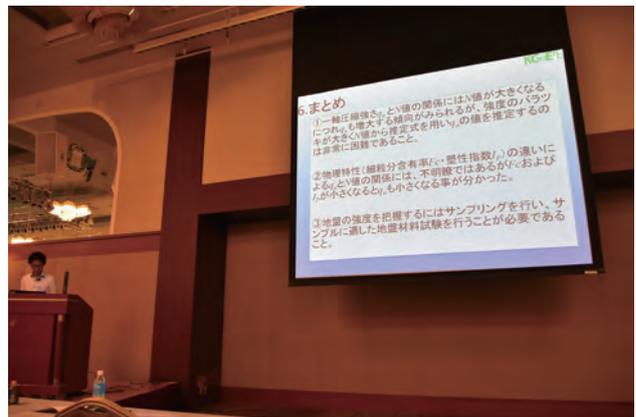


服部発表の様子

三好 功季 報告

当組合で2014年度から発表している「粘性土の一軸圧縮強さとN値の関係」を、今回私が受け継ぎ発表させていただきました。話で聞いていたよりも広い会場と、人の多さに圧倒され体調が悪くなりそうな二日間でした。

発表は初めての経験でしたので、上司や先輩方の指導のもと日々練習を重ね本番に挑みました。残念ながら優秀技術発表賞を頂くことはできませんでした。想像以上の空気感に負け練習通りに行かなかった事と、質疑応答に答えられなかった悔しさは忘れません。しかし、この発表で個人的には一歩前進できたかなと感じております。今回の課題を次に生かし次回の発表では必ず賞を取りたいと思います。



三好発表の様子

「宇治川オープンラボラトリーと伏見城周辺 現地見学会」

平成 28 年度 合同見学会 御案内

(一社) 関西地質調査業協会 理事長 荒木 繁幸
(一社) 日本応用地質学会 関西支部 支部長 北田 奈緒子
(協) 関西地盤環境研究センター 理事長 高村 勝年

平素は関西地質調査業協会、日本応用地質学会、関西地盤環境研究センターの活動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年度の技術見学会としては三団体の技術交流や親睦をかねて、合同で実施する運びとなり、京大防災研究所の施設である宇治川オープンラボラトリーと伏見城周辺の「豊臣地形」を巡るツアーを企画いたしました。

宇治川オープンラボラトリーは広く社会に開かれた研究、教育、学習の場とされており、研究機関、研究者、一般企業、学校などに対する共同利用施設として位置づけられています。水理実験の施設や装置を中心に多くの観測・実験装置群を擁しており、水害が発生したときに階段から流入する氾濫水を体験したり、氾濫水が家屋などに侵入し、水圧でドアを空けられなくなる状態を体感できます。

伏見城周辺のツアーは、豊臣秀吉によって作られた様々な人工地形、等高線を無視して傾斜地に直線的に作られた城下町、すさまじく深くて広い堀、などをプラタモリでタモリさんを案内したガイドさんが興味深い解説と共に案内して下さいます。

新しい見識および交流を広げる絶好の機会です。皆様のご参加をお待ちしております。

[日 時] 平成 28 年 11 月 16 日 (水)

※雨天でも行います。

[定 員] 申し込み 20 名様まで
(多数の場合は抽選)

※1社1名様までお願いいたします。

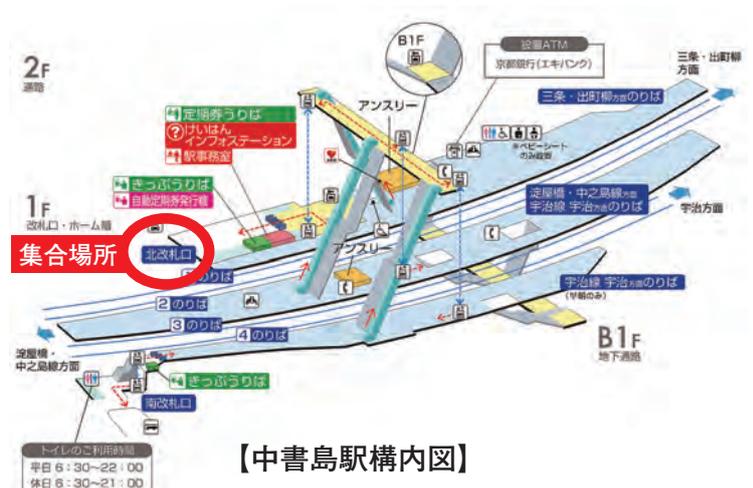
[集合時間] 午前 9 : 00

[集合場所] 京阪電鉄京阪本川「中書島」駅
北改札口に集合。

(受付にて出欠確認を受けて下さい。)

[服 装] 歩きやすい服装と靴でご参加下さい。

[C P D H] 7.0H



【中書島駅構内図】

[行 程] 中書島駅 (京阪本線) → (徒歩による移動 20 分) → 宇治川オープンラボラトリー (約 2 時間) → (徒歩による移動 20 分) → 中書島駅 (京阪本線) → (電車による移動 2 分) → 伏見桃山駅 (京阪本線) → (徒歩による移動 10 分) → 昼食 → 伏見区役所 → (伏見城周辺ツアー 3 時間 30 分) → 伏見北堀公園 (解散)
※解散時間は 16 時 30 分頃を予定

[参加費用] 1人あたり2,000円(食事代を含む)

[申込み方法] 10月31日までに、以下のいずれかの方法でお申し込み下さい。なお、参加費用は申込みと同時に納入して下さい。

①参加申込書を、郵便またはFAXにてお送り下さい。

②「ジオ・スクーリングネット」ホームページ www.geo-schooling.jp からお申し込み下さい。

[申込み先] 関西地質調査業協会事務 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-14-15

FAX 06-6446-0609 TEL 06-6441-0056

[会費納入先] 銀行振込先 りそな銀行御堂筋支店 普通預金

0115726 関西地質調査業協会

郵便振替先 00940-9-88539

※不明な点がございましたらセンター行事委員会事務局@松本まで御連絡下さい。

-----キ-----リ-----ト-----リ-----線-----

平成28年 月 日

平成28年度 技術見学会 参加申込書

会社名：

参加者名：

住所：

電話番号：

生年月日：

メールアドレス：

会費納入方法： ①銀行振込 ②郵便振替

銀行振込先 りそな銀行 御堂筋支店 普通預金

0115726 関西地質調査業協会

郵便振替先 00940-9-88539

行事・講習会・資格試験等のご案内

H28年9月20日現在

主催	開催日 開催地	名称	備考
地盤工学会関西支部 http://www.jgskb.jp/	11月18日	Kansai Geo-Symposium 2016 - 地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム -	原稿締切済
地盤工学会 https://www.jiban.or.jp/	期限なし	シニア会員と若手の交流企画	原則として年齢 60歳以上
	10月25日	杭基礎のトラブルとその対策講習会	
日本応用地質学会 http://www.jgskb.jp/	10月26日 ～27日	平成28年度 日本応用地質学会 研究発表会	
地質リスク学会 http://www.georisk.jp/	11月18日	第7回地質リスクマネジメント 事例研究発表会	原稿締切済
日本地すべり学会 https://japan.landslide-soc.org	11月10日	講習会「防災分野へのGIS技術の利活用」	
建設コンサルタンツ協会近畿支部 http://www.kk.jcca.or.jp/	10月28日	『建コンの未来を考える』 建コンワールドカフェ大阪	
災害科学研究所 http://csi.or.jp/	10月25日	講習会「道路橋床版の長寿命化技術」	
日本材料学会地盤改良部門委員会 http://jiban.jsms.jp/	10月27日 ～28日 京都	第12回地盤改良シンポジウム	原稿締切済

※内容の詳細については、ホームページ等でご確認願います。

☆ 立会・見学会実施状況 ☆

7～8月編

- 立会 抜取り・観察 1回 改良一軸圧縮試験 13回
- 中型三軸圧縮試験 1回 CBR試験 3回
- 六価クロム溶出試験 1回
- 見学会 建設コンサルタント 1回

※立会・見学会等お気軽にご相談下さい。

こんな時代だから、 ちょっと心に残る良い話

今回のちょっといい話は、CM から引用しております。
リオオリンピックも終了致しました、次は東京です。
そのCM で面白いと感じたのでここで紹介をさせていただきます。
お暇な時に一読してみてください。

(稲田 記)

【ライバルは 1964 年】

おじいちゃんは、言っていた。
お金はそんなになかったけど、笑顔はそこら
じゅうにあった。
世界とはつながっていなかったけど、近所の
人とはつながっていた。
あの頃の日本人に、笑顔で負けるな。
見ることの大きさに負けるな。
人を思いやる気持ちで負けるな。
暮らしの豊かさだけでなく、こころの豊か
さでも、絶対に負けるな。
ライバルは、1964 年。
2020 年に向け、日本を考えよう。

【参考文献】 参考文献：https://www.ad-c.or.jp/campaign/self_all/self_all_02.html

編集後記

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックも無事閉幕し、今大会も数々の感動とドラマが私たちを興奮させてくれました。次はいよいよ TOKYO です！この興奮を 2020 年東京オリンピックに引き継ぎましょう！

私が初めてオリンピックという大会をテレビで見たのは、1984 年ロス五輪でした。

陸上ではあのカールルイスが見事 4 冠！カールルイスという怪物に鳥肌が立ったものです。

また、柔道では男子無差別級の決勝戦に出場した山下が、痛めていた右足を引きずりながら見事に金メダル！対戦相手も山下の異変に気づき、「右足を狙わなかった」というフェアプレーが賞賛を浴びました。

さて、今大会開催前には 2020 年東京五輪エンブレム問題や、ロシア陸上選手団のドーピング問題などいくつかの「ズル」が発覚しましたが、当センターに「ズル」は一切ありません。『ISO/IEC17025：2005（試験の国際標準規格）に適合する試験所』として認定を取得した試験所です。これからも確かな品質を皆様にご提供していけるよう日々精進していく所存です。

（田代 記）

